

「中学校登山 生徒意識アンケート調査」のまとめ

長野県山岳総合センター

1. はじめに

長野県内では、平成23年までは9割を超える中学校で学校登山を実施していたが、その後学校登山を取りやめる学校が増加し、コロナ禍を経てその割合は4割を切っている。

減ってきているとはいえ、2023（令和5年度）においても県内60校を超える中学校で学校行事として学校登山を実施し、コロナ禍が落ち着いてきたことで、今後その数が増える可能性もある。

山岳総合センターとしては、この学校登山が、生徒たちにとってより安全で楽しい思い出に残る学校行事になるための提言をしていきたいと考え、生徒一人ひとりにアンケート調査を実施した。

2. 調査内容

2.1 調査対象

日帰り登山を実施した学校として、中信にあるK中学校（乗鞍岳登山）と、宿泊登山を計画した学校として、南信にあるH中学校（硫黄岳登山）の2校の生徒に、アンケート調査をお願いした。

K中学校には、登山の前後でアンケート記入をお願いできたが、H中学校は登山が中止になってしまったので、登山前のみのアンケート結果となっている。

2.2 アンケート内容

日帰り登山を実施したK中学校の登山前アンケート

- | | | |
|---|----|----|
| ①あなたは | 男子 | 女子 |
| ②登山を前にして、楽しみにしていることに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 山の景色を見ること () 山で雪を見ること () 高山植物を見ること
() 山で、ライチョウなどの動物に出会うこと () 山の頂上に立つこと
() クラスの友達といっしょにバスに乗ること
() クラスの友達といっしょに乗鞍岳に登ること
ほかに楽しみにしていることがあったら書いてください。 | | |
| ③登山を前にして、不安なことや心配なことに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 頂上まで登ることができるかどうか心配
() 登っている途中で調子が悪くならないか心配
() トイレのことが心配 () 当日の天気がか心配 () 服や靴、雨具のことが心配
() クラスの友達と仲良く登山ができるか心配
ほかに不安なことや心配なことがあったら、具体的に書いてください。 | | |
| ④登山を前にした今の気持ちは、5つのうちのどれですか。一つだけに○印をして下さい。
() とても楽しみ () 少し楽しみ () どちらともいえない
() あまり楽しみではない () まったく楽しみではない | | |

日帰り登山を実施したK中学校の登山後アンケート

- ①あなたは 男子 女子
- ②登山をして、楽しかったこと、うれしかったことに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 山の景色を見たこと () 山で雪を見たこと () 高山植物を見たこと
() 山で、ライチョウなどの動物に出会ったこと () 山の頂上に立ったこと
() クラスの友達といっしょにバスに乗ったこと
() クラスの友達といっしょに乗鞍岳に登ったこと
ほかに楽しかったこと、うれしかったことがあったら書いてください。
- ③今回の登山で、楽しくなかったことやいやだったこと、たいへんだったことに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 登山前の準備が大変だったこと () 行き帰りにバスに乗ったこと
() 登山が体力的にきつかったこと () 登山をしているときに暑かったこと
() 登山をしているときに寒かったこと風が強かったりしたこと
() 虫がいたこと () トイレのこと
ほかに楽しくなかったり、いやだったと思ったりしたことがあったら、具体的に書いてください。
- ④これからもチャンスがあれば登山をしたいと思いますか？
一つだけに○印をして下さい。
() 登山をしたいと、とても思う () どちらかという、登山をしたいと思う
() どちらともいえない () どちらかという、登山をしたいとは思わない
() 登山をしたいとは、全く思わない

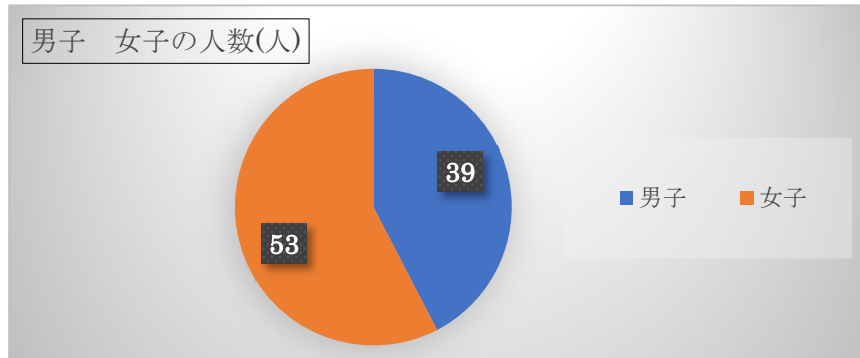
宿泊登山を実施したH中学校の登山前アンケート

- ①あなたは 男子 女子
- ②登山を前にして、楽しみにしていることに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 山の景色を見ること () 山で雪を見ること () 高山植物を見ること
() 山で動物に出会うこと () 山の頂上に立つこと
() クラスの友達といっしょに硫黄岳に登ること
() クラスの友達といっしょに山小屋に泊まること
() クラスの友達といっしょにバスに乗ること
ほかに楽しみにしていることがあったら書いてください。
- ③登山を前にして、不安なことや心配なことに○印をして下さい。
○の数はいくつでもよいです。
() 頂上まで登ることができるかどうか心配
() 登っている途中で調子が悪くならないか心配
() 山小屋に泊まることに不安がある () トイレのことが心配
() 当日の天気がか心配 () 靴や服、雨具のことが心配
() クラスの友達と仲良く登山ができるか心配
ほかに不安なことや心配なことがあったら、具体的に書いてください。
- ④登山を前にした今の気持ちは、5つのうちのどれですか。一つだけに○印をして下さい。
() とても楽しみ () 少し楽しみ () どちらともいえない
() あまり楽しみではない () まったく楽しみではない

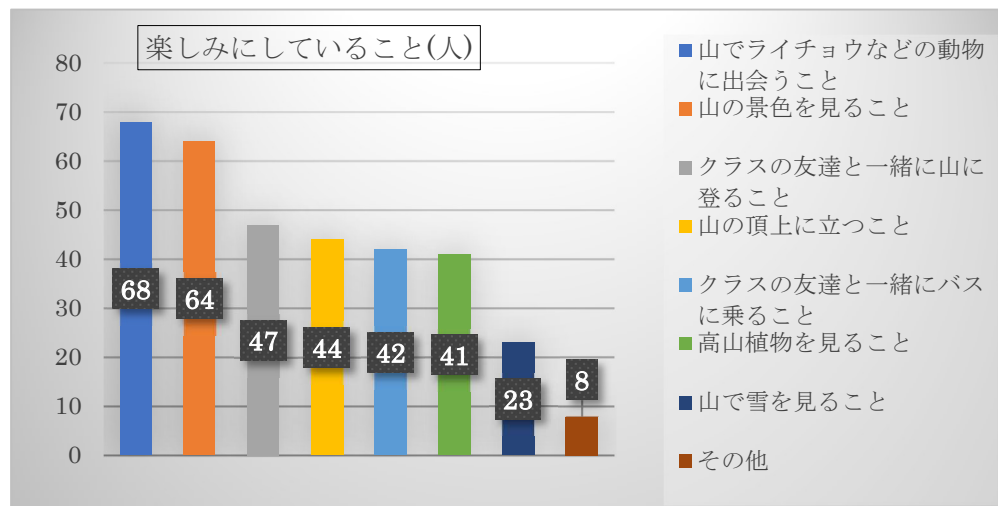
3. アンケート結果（数字の単位はいずれも 人）

3. 1 日帰り登山を実施したK中学校(乗鞍岳登山)の、登山前のアンケート結果
(回答 92 名)

(1) アンケートに協力した生徒

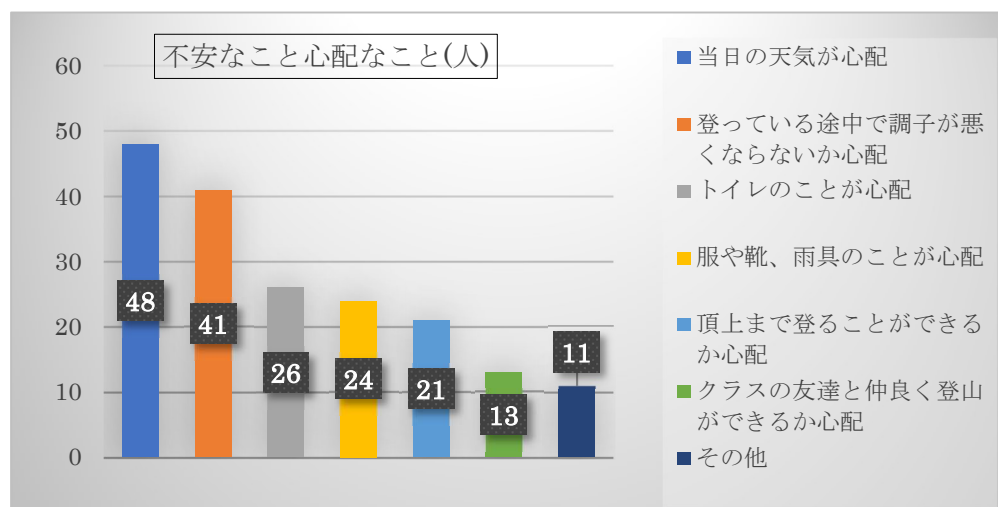


(2) 登山を前にして楽しみにしていること(複数回答あり)



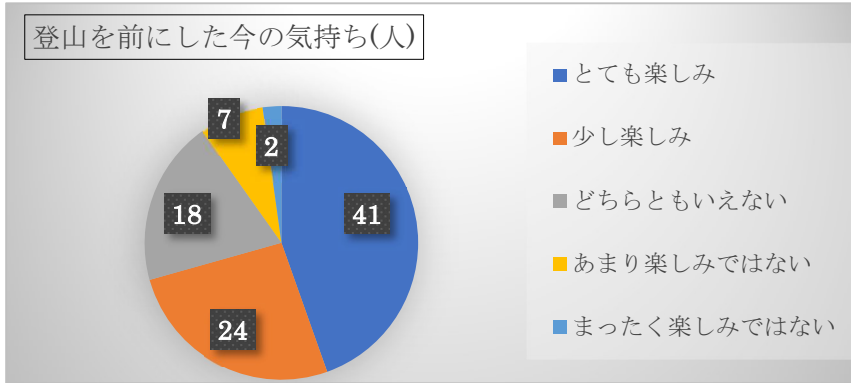
その他の回答で、2名以上が答えていたのは「山に登ること自体を楽しみにしているということ」

(3) 登山を前にして、不安なこと心配なこと(複数回答あり)



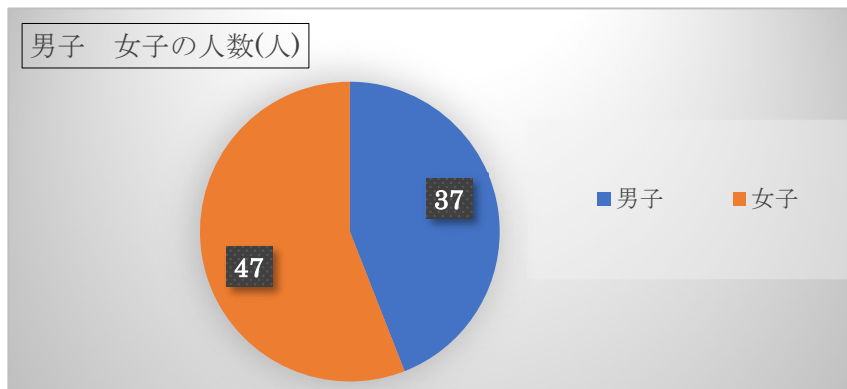
その他の回答で、2名以上が答えていたのは「山で遭難しないか心配」「バス酔いしないか心配」

(4) 登山を前にした今の気持ち(択一)

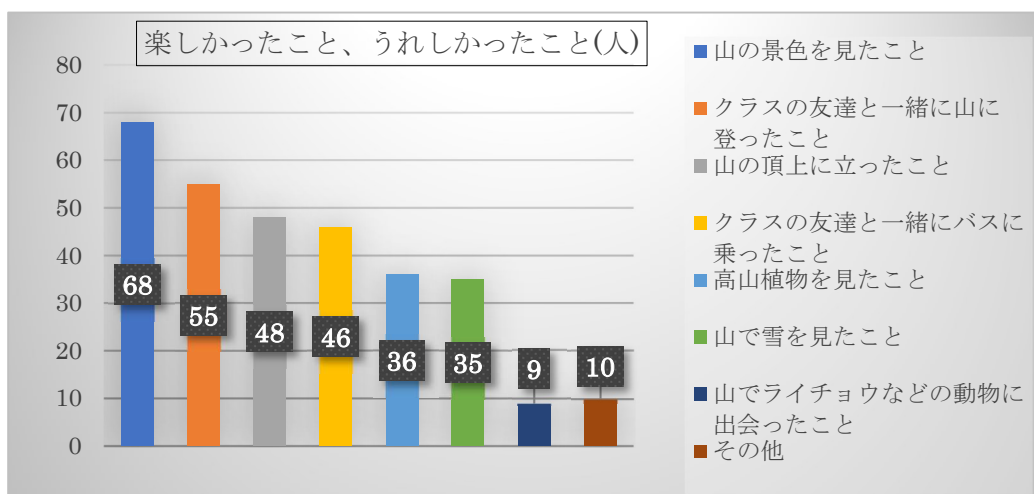


3. 2 日帰り登山を実施したK中学校(乗鞍岳登山)の、登山後のアンケート結果(回答 84 名)

(1) アンケートに協力した生徒

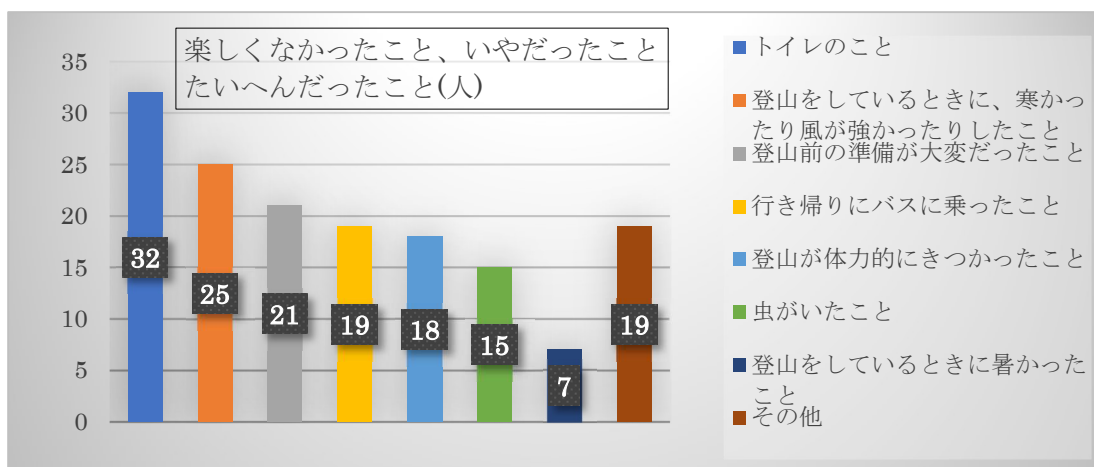


(2) 登山をして楽しかったこと、うれしかったこと(複数回答あり)



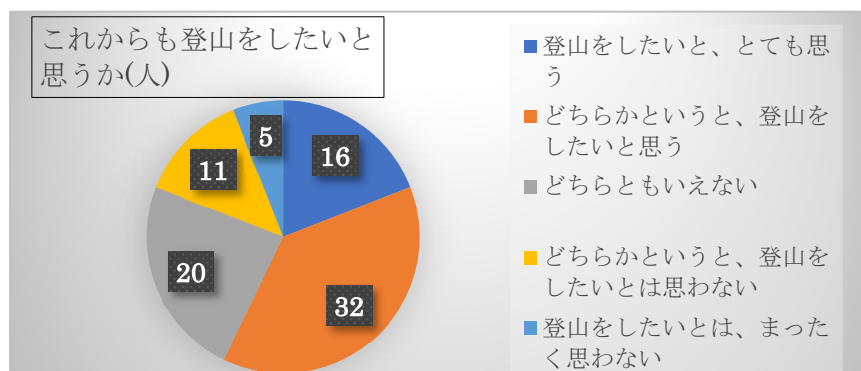
その他の回答で、2名以上が答えていたのは「係の仕事ができたこと、協力できたこと」

(3) 今回の登山で、楽しくなかったこと、いやだったこと、たいへんだったこと
(複数回答あり)



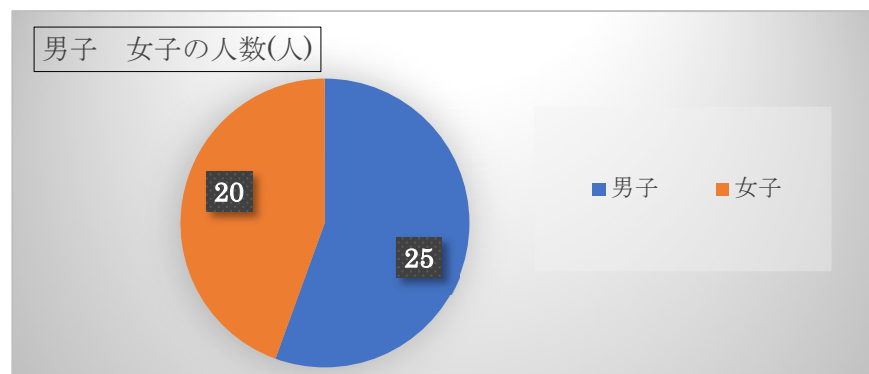
その他の回答で、2名以上が答えていたのは「バス酔いをしたこと」「クラスの友達と仲良く登山ができなかったこと」「登山中、体調がよくなかったこと」

(4) これからも登山をしたいと思いますか(択一)

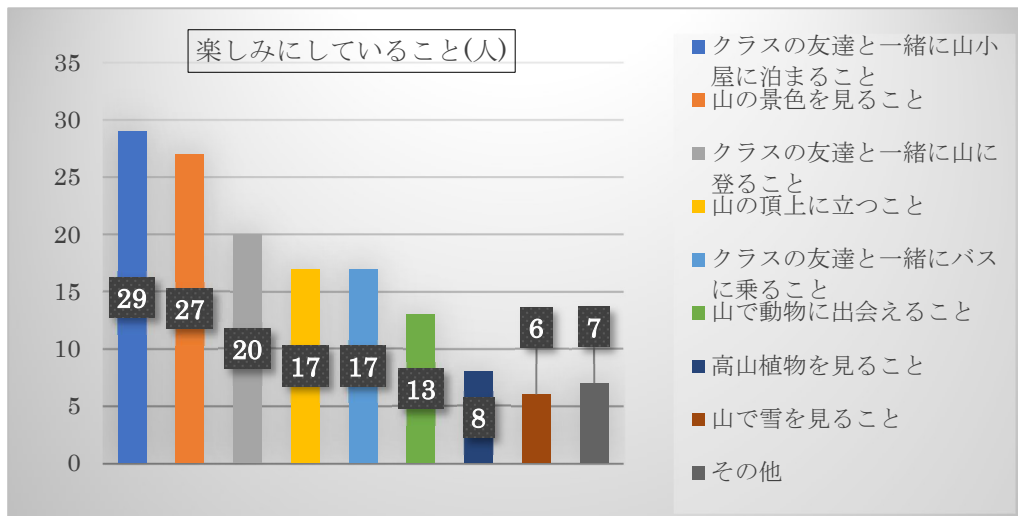


3.3 宿泊登山を計画したH中学校(硫黄岳登山)の、登山前のアンケート結果
(回答 45名)

(1) アンケートの協力した生徒

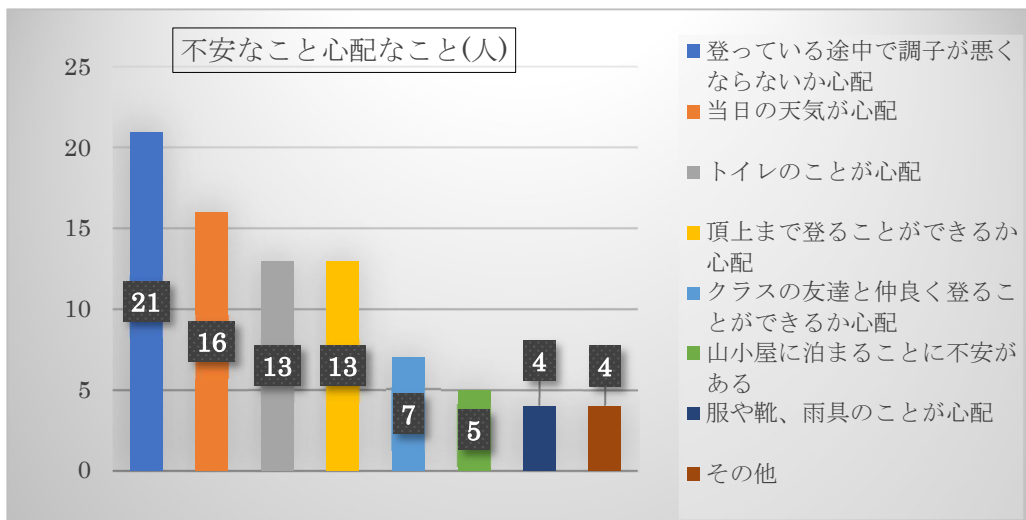


(2) 登山を前にして楽しみにしていること



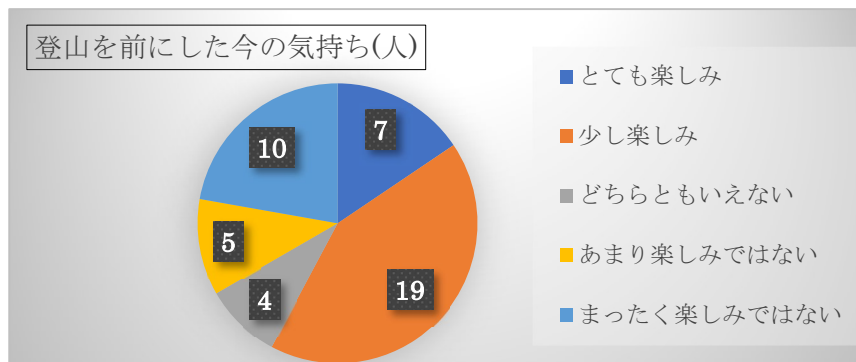
その他の回答で、2名以上が答えていたのは「山小屋での食事」

(3) 登山を前にして、不安なこと心配なこと



その他の回答で、2名以上が答えていたのは「山で滑落しないか心配」

(4) 登山を前にした今の気持ち(択一)



4. 考察

はじめに、両校が事前学習として取り組んだ内容は以下の通り。

○日帰り登山を実施したK中学校(乗鞍岳登山)

- ・乗鞍岳の魅力や登山の注意、動物のことなどについての話を、登山当日のガイドの方から聞いた。
- ・事前学習として、生徒達自身が装備や服装、歩き方、動植物などのことを調べた。

○宿泊登山を計画したH中学校(硫黄岳登山)

- ・八ヶ岳の魅力、パッキングの仕方等について、登山当日のガイドの方から話を聞いた。ちなみに、そのガイドの方はこの中学校の保護者だということ。
- ・歩行訓練として、登山当日の服装や荷物を背負い、グランドの土手など校舎周りを歩いた。
- ・リュックを背負い登山靴を履いての登校を、登山一か月前から行った。

4. 1 登山前に楽しみにしていることについて

(1) 一番人気ではない「山の頂上に立つこと」

両校とも「山の頂上に立つこと」は4番目の楽しみで、一番の楽しみは、日帰り登山の学校の生徒は「山でライチョウなどの動物に出会うこと」、宿泊登山の学校の生徒は「クラスの友達と一緒に山小屋に泊まること」という結果になった。

学校行事として登る学校登山は、頂上に立つこと以外の楽しみがあることがわかる。

(2) 「クラスの友達と一緒に登ること」が楽しい学校登山

両校ともに、多くの生徒が、「クラスの友達と一緒に山に登ること」や「一緒にバスに乗ること」を楽しみにしていることに選んでいる。学校登山は、友達と一緒に登ることや一緒に山小屋に登ることといった、友達との一緒に活動が大きな楽しみになっていることがわかる。

4. 2 登山を前にして、不安なことや心配なことについて

(1) 登山を前にして気になる、「当日の自分の体調」と「当日の天気」

両中学校ともに、登山を前に不安なことや心配なことで多かったのは、自分の体調面と登山当日の天気のことだった。

登山経験がほとんどない生徒達にとっては、登山中体調が悪くならないかということとは大きな心配事になっているようだ。この心配を軽減するためにも、登山前の事前学習の内容として、登山中の体調管理について学ぶことが必要だろう。

(2) 「トイレのこと」も心配

体調面ともかかわって、登山中のトイレのことは心配事になっている。登山中のトイレ利用は体調面とも大きくかかわってくるので、水分摂取の仕方やトイレの情報等、事前学習の内容として扱う必要がある。

山小屋は過酷な自然環境にあるがゆえに、自宅のトイレや旅館、ホテルのトイレとは同じではないということを、事前に学習しておくことは大事なことである。

4.3 登山を前にした気持ちについて

(1) 多くの生徒は、登山本番当日を楽しみにしている

日帰り登山の学校では7割の生徒が、宿泊登山の学校では6割弱の生徒が、登山を楽しみにしていることがわかる。この数字は、登山に向けた事前学習の内容や取り組み方によっては、さらに増すのではないだろうか。

(2) 一定数は存在する、登山が楽しみではない生徒

登山を楽しみにしている生徒が半数以上いる一方で、楽しみにしていない生徒もいる。日帰り登山の学校では1割の生徒が、宿泊登山の学校では3割強の生徒が、登山を前にして楽しみにしていないという結果だった。

この両校の数字の違いは、山小屋に泊まる経験のない生徒達にとっては、やはり山小屋泊に対する不安な気持ちが大きいというあらわれだろうか。登山を前にして不安感を持っているこのような生徒を減らし、友達と一緒に山小屋に泊まることを更に楽しくわくわくするような気持ちにさせるような手立てが必要だろう。

4.4 登山をして、良かった、うれしかったと感じたことについて

(日帰り登山の学校のみ)

(1) 頂上に立ち、頂上からの景色に感動している生徒達

84名中8割に当たる68名の生徒が「山の景色を見たこと」を、6割近い48名が「山の頂上に立ったこと」をうれしかったことと答えている。また、「高山植物を見たこと」や、夏の時期に「雪溪の雪を目の当たりにしたこと」がうれしかったこととして答える生徒が多かった。

雪の残る3,000mを超える山頂に立ち、信州の山の雄大さや自然のすばらしさに触れたことは、中学生にとっては大きなインパクトのあることだったことが想像できる。登山は、中学生という多感な時期にこそぜひ経験してほしい体験だと思う。

(2) クラスの友達と一緒に登ることで、更に感動が増す学校登山

単に、頂上に立ち山の自然に触れるだけではなく、その体験を、日頃の学校生活を共にしているクラスの友達と一緒にということにも大きなポイントがあることがわかる。

3,000m級の山に登ることは、中学生にとっても決して楽なことではない。この登山を、クラスの友達と一緒にするからこそ頑張ることができるのだろう。登山口までの移動のバスの旅も、中学生にとっては楽しい思い出となっているようだ。

4.5 登山をして、楽しくなかった、いやだった、大変だったと感じたこと

(日帰り登山の学校のみ)

(1) 大変だった事の一つは、「トイレのこと」

登山を前にして、トイレのことを心配している生徒が多かったが、登山後このトイレのことを楽しくなかったことやいやだったこと、たいへんだったこととして答えた生徒は4割と一番多かった。

登山におけるトイレ問題は、大人の登山でも気になるところだが、学校登山に参加する中学生にとっても大きな問題だということがわかる。前述の4.2でも触れたように、山岳地域でのトイレの維持管理の大変さを、環境問題とも絡めて触れておくこ

とは大事なことではないだろうか。また、トイレで使用した紙の処分方法について、その山小屋ごとのルールやその理由についても、登山前に学習しておくようにしたい。

トイレ利用を我慢するがゆえに体調がすぐれなくなり、登山に対してマイナスのイメージを持つようなことは避けたい。

(2) 体力的に大変だった生徒もいた

「体力的に大変だった」という生徒は、2割に当たる18人いた。この中には、3,000m級の登山で発症することがある高山病的な症状があらわれていた生徒がいた可能性もある。

学校登山がより楽しい思い出となるためにも、引率者である先生方が、登山における運動生理学的な知識を得ることは大切である。この知識は、生徒達がより安全に快適に楽しく登山を体験することにつながる。

4. 6 登山後の、登山に対する気持ちについて(日帰り登山の学校のみ)

(1) 登山に対してよい印象を持った生徒は半数強

日帰り登山を経験した学校の84人中6割弱にあたる48人は、また登山をしたいと思ったと答えていた。そのうち、全体の2割の生徒は、今回の登山で楽しい思い出をしたこともあってか、また登山をしたいと強く思うと答えている。

今回の登山時の天気は、「朝は晴れだったが、山頂ではガスが上がってきてしまい眺望は無かった」と聞いている。子どもたちにとって楽しい思い出に残る登山になるためにも、可能な限り天気に恵まれたタイミングで登山を実施したい。そのためには、計画を立てる段階では大変なことも多いと思うが、学校登山やキャンプといった自然体験活動的な行事では、予備日を設けて、できるだけ良い自然条件下で実施するようにしたい。

(2) 2割の生徒は、登山に対して否定的な感想をもつ

また登山をしたいと思う生徒がいる一方で、登山に対して否定的な生徒もいる。2割に当たる16人は、どちらかというともたまたま登山をしたいと思わないかまったく思わないと答えていた。

今回のアンケート調査では、登山に対して否定的に感じた生徒の心の内までは聞いていないので、その理由はわからない。学校登山がより教育的に意義のある行事にするためにも、生徒の本音の部分聞き取るということが必要だろう。

5. まとめ

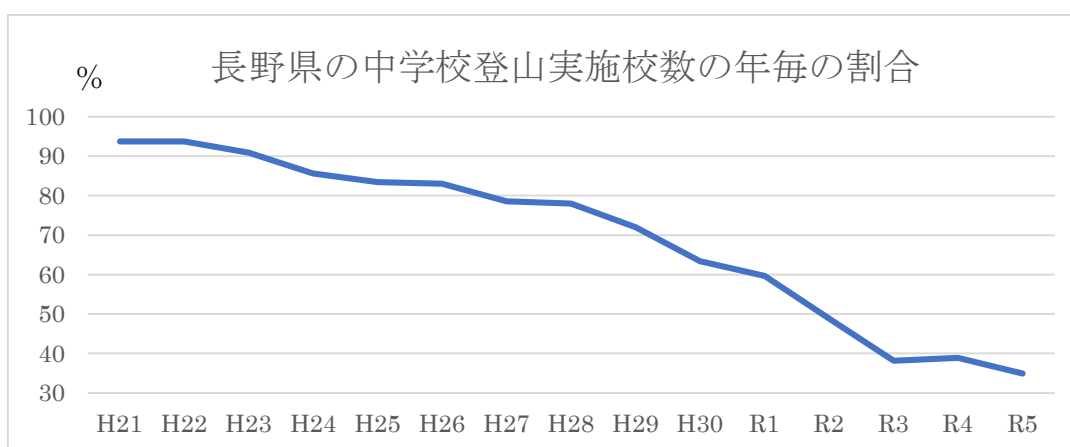
コロナ禍の令和2年度、当センターの調査研究「長野県中学校登山動向アンケート調査のまとめ」では、次の様な一文を最後に載せた。

「ここで危惧していることは、一度中止になってしまった学校登山が、コロナ禍が終息した後も中止の状態が続くのではないかということだ。」

この調査をしたのは、コロナ禍1年目の全校一斉の臨時休校が実施された年のことである。

では実際はどうだったかというと、

次のグラフは、長野県教育委員会の学びの改革支援課から出ている「学校経営概要のまとめ 小中学校編」の資料より作成したものである。



危惧していた状況が実際に起きているようにも見える。ただ、コロナが5類感染症に移行したのが令和5年5月ということを考えると、令和6年度の学校登山の実施校の数字が気になるころではある。

山岳県長野に住む子どもたちにとって、信州の山は、今までもそしてこれからも自然体験や社会体験などの体験活動を充実させる貴重なフィールドであり、学校登山は価値のある自然体験活動だということは変わらないと思う。これは、中学生だけではなく、小学生にとっても言えることではないだろうか。

教育的に意義のある行事と考える学校登山が、子どもたちにとって今まで以上に楽しい思い出として残る行事とするためには、学校だけの努力にお任せするのではなく、長野県全体としても考えていく時期に差し掛かっていると思う。

県とJRグループが、2017年夏（7～9月）の観光誘客事業「信州 destinations キャンペーン」の際、「世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州」というキャッチフレーズを使用したことを覚えている方も多いと思う。

県内の山岳や高原の魅力を信州観光の柱として広く発信し、国内外から誘客するためにも、まず長野県に住む子どもたちが、安全に楽しく山岳や高原をフィールドとした自然体験活動に取り組み、そこからかけがえのないものを得るという体験こそが何にもまして大切なのではないだろうか。

最後に、お忙しい中今回の調査にご協力いただいた2校の中学校の生徒の皆さん、そして先生方にこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

【追記】当センターでは、学校登山をテーマにした動画「学校登山～120年の歴史を未来へ～」を制作し、動画投稿サイトYouTubeに公開しています。多くの方に視聴してもらい、学校登山について考える機会となれば幸いです。